

2026年4月20日

学生広告論文賞応募者
ゼミ指導教員 各位

日本広告学会
広報・学术交流委員会
学生広告論文賞事務局

第14回 日本広告学会 学生広告論文賞応募要領

日本広告学会関東部会では、大学生による広告研究を奨励し、広告研究および広告実務に携わることを志す大学生を育成することを目的として、「日本広告学会関東部会 学生広告論文賞」を実施してきました。2025年度より、伝統ある学生広告論文賞のさらなる発展を期して、主催を日本広告学会広報・学术交流委員会に移管し、名称を「日本広告学会 学生広告論文賞」に変更しています。全国化2年目を迎えるにあたり、応募要領・執筆要領に注意点の加筆などの改訂を加えております。過年度までにご参加くださった皆様も応募要領・執筆要領を改めてご熟読いただき、是非とも奮ってご応募ください。

1. 応募条件

- (1) 日本広告学会に所属する正会員が指導する学部学生であること。
- (2) 3名以上8名以内のグループであること。
- (3) 下記課題に関する未発表の論文であること。

2. 課題

広告に関連するテーマの論文を幅広く募集します。研究テーマの例としては、次のようなものが挙げられます。

広告効果、広告管理、広告媒体、広告表現、広告心理、広告調査、広告史、広告法制・規制、広告倫理、広告教育、広告と消費・流通、広告と経済・経営、広告と文化・社会(環境・福祉・ジェンダー)、広告と情報、広告研究方法論、国際広告・国際比較、マーケティング・コミュニケーション、広報、セールス・プロモーションなど。

大学生ならではの新鮮な着眼点や問題意識を有する論文を期待しています。

3. 応募方法

本賞では論文提出に先だって事前エントリーの方法をとります。下記リンクから「エントリーフォーム」に必要事項を学会員（ゼミ指導教員）がご記入ください。

エントリー締め切り：2026年6月30日(火) 23:59

エントリーフォーム：<https://forms.gle/8wSk9Q2mLgcJqZgB8>

4. スケジュール

論文執筆ワークショップ	2026年6月15日(月) 18:00~19:30 @オンライン
エントリー締め切り	2026年6月30日(火)
論文提出締め切り	2026年11月26日(木) 21:00
審査結果発表	2027年1月中旬(予定)

5. エントリー・論文提出に関する特筆事項

- 学生広告論文賞にエントリーした学生、あるいはエントリーを予定している学生は、原則として、論文執筆ワークショップ（関東部会と共催）に参加してください。本ワークショップの案内は、開催1カ月前を目安に学会HPで公開されるほか、日本広告学会会員である指導教員の先生方にメールにて配信されます。参加できなかった場合にもエントリーを妨げることはありませんが、本ワークショップでは、論文執筆にあたって注意すべき点を具体的に説明しますので、参加を推奨します。グループメンバー全員の出席が望ましいですが、難しい場合は、少なくとも各グループの代表学生1名は参加するようにしてください。なお、手続き上の理由により録画・配信はいたしません。
- 論文提出時点において、応募要領に示した応募条件に該当しない場合、いかなる理由であっても例外なく審査対象外とします。
- 応募条件の(1)について、論文提出時に指導教員が日本広告学会を退会している場合は、応募できません。
- 応募条件の(2)について、エントリー時に登録した人数から論文提出時での人数に変更があってもかまいませんが、3名以上8名以内であることは厳守してください。
- 応募条件の(3)について、審査プロセスにおいて未発表の論文ではない疑いがもたれた場合、事務局から投稿グループの代表者および指導教員に対して問い合わせる場合があります。また審査中、審査結果発表後に関わらず、未発表の論文ではないことが判明した場合は失格とします。
- 応募要領と執筆要領で示したルールを著しく逸脱していると事務局で判断した場合は審査対象外とします。特に、応募要領の4.スケジュールで示した論文提

出締め切りを遅延した場合、執筆要領の 2.原稿の書式（5）で示したページ数（25 枚以内）を超過した場合は、例外なく審査対象外となります。

- 特に論文提出の締め切り遅延に関しては、過去に、システム障害、インターネット接続の障害、パソコンの不調、提出先メールアドレスの打ち間違いによる送信エラーなどによる提出遅延が多く見られましたが、こうした理由による提出遅延に対しても特例は認めません。必ず時間に余裕を持って、トラブルが生じた際にも適切に対処できる環境で投稿してください。なお、特定地域全体のインターネット接続の障害や、運営側の問題に起因する送受信エラーが生じた場合はその限りではありません。状況に応じて判断します。
- 投稿の際は、提出論文登録フォームへの入力と、事務局メールアドレス宛への原稿と論文要旨の提出（送信）が求められます。過去に、提出期限内にどちらかが未済（特に、提出論文登録フォームへの入力忘れ）だったグループがありましたが、こうした場合も提出締め切り遅延と判断し、例外なく審査対象外とします。十分に注意してください。
- 投稿論文の複数回の提出も控えてください。添付するデータを間違えたなどの理由で複数回提出するグループが多く見られますが、運営に支障をきたすため、きちんと確認の上、提出してください。なお、同様の理由で提出締め切り後に自己都合で再提出した場合は、仮に提出期限内に一度提出していたとしても、審査対象外とします（※提出期限内における自己都合での再提出に関しては、状況を確認の上、1 回目提出のものと同様のものどちらを受け付けるか事務局で判断します）。

※上記の特筆事項に関して、学生からの問い合わせは受け付けません。ただし、指導教員がやむを得ない事情であると判断した場合に限り、指導教員から事務局に確認することは認めます。指導教員のみなさまにおかれましては、必ず提出締め切り前に、できる限り日にちの余裕を持ってご連絡ください。提出締め切り直前のご連絡には対応できない場合があります。提出締め切りを過ぎてからのご連絡に対しては一切対応できません。なお、全ての事情に対して対応できるわけではない点もご承知おきください。

6. 論文提出方法

論文を提出する際には、下記リンクから「提出論文登録フォーム」に必要事項を記入した上で、期日までに関東部会事務局宛てにメール添付で提出してください。

□提出論文登録フォーム：（フォームは 11 月よりオープン）

<https://forms.gle/BLqUpHcN4GURU35H7>

□提出先：gakuseikoukokuronbun（アット）gmail.com

□提出物：原稿と論文要旨（両方とも PDF ファイル）

7. 論文提出に関する学会員（指導教員）へのお願い

(1) 文章の可読性

文章が極端に読みにくかったり文献の引用方法が不適切だったりする場合は、審査対象外になることがあります。応募学生への注意・ご指導をよろしくお願いいたします。

(2) 生成 AI の利用制限

著作権上の問題が生じたり、学修効果が低減したりする懸念があることから、投稿論文の文章そのものを生成 AI によって作成することは一部分であっても禁止とします。その他、研究における生成 AI の使用にあたっては、先生方より学生のみなさまへのご指導をお願いいたします。

(3) 研究倫理

「捏造・改ざん・盗用」といった研究不正行為を犯すことがないように、研究倫理を遵守するようご指導ください。二重投稿にも抵触しないよう十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。学生広告論文賞では、『広告科学』編集方針の「5. (1) 掲載基準」に則り、他の学術雑誌に掲載されたことのない未発表の原稿のみを審査対象とします。他の学術雑誌で審査中であるなど、論文として掲載される見込みがあるものについては投稿をご遠慮ください。

8. 審査方法

複数審査員による匿名評価によって審査を行います。審査員は原則として日本広告学会に所属する学会員に依頼します。

9. 審査基準

審査にあたっては次の諸点について評価を行います（★の数は評価における重視度を示しています）。

- 研究目的は明確であるか。★★★
- 独創的な研究であるか。★★★
- 論理的に構成されているか。★★★
- 先行研究は十分にレビューされているか。★★
- 平易な文章で読みやすく書かれているか。★★
- 引用した文献資料やデータは適切に示されているか。★★
- 研究成果が有益な示唆を有しているか。★★

- 広告研究として適切なテーマであるか*。★
- 適切な分析・検証方法が用いられているか。★

*「広告研究」のテーマとしての適切性は、「2. 課題」に挙げた研究テーマに該当するか否か、および論文の趣旨に照らして総合的に判断されます。

10. 論文の様式

学会 HP に掲載する「執筆要領」に沿って原稿を作成してください。

11. 入賞

金賞	賞状、副賞（『日経広告研究所報』への論文掲載）
銀賞	賞状
銅賞	賞状
佳作	賞状
奨励賞	賞状

■金賞・銀賞・銅賞の論文要旨は学会 HP に掲載します。なお、学会 HP に掲載する論文要旨の体裁については別途案内します。

12. 問合せ先

日本広告学会広報・学术交流委員会
学生広告論文賞事務局（gakuseikoukokuronbun(アット)gmail.com）

*（アット）を@に置き換えてください。